

平成30年3月18日

半田市長 榑 原 純 夫 様

半田市立半田病院新病院建設候補地検討委員会
会 長 瀬 口 哲 夫

新病院建設候補地検討委員会の検討結果について（答申）

新病院建設候補地検討委員会は、平成29年12月22日に第1回を開催して以来、4回の会議を開催し、委員から出されました意見を取りまとめたので、下記のとおり答申いたします。

記

当委員会では、新病院建設候補地として事務局から提案された「半田運動公園」及び「半田北部グラウンド」に加え、委員から提案のありました「半田福祉文化会館（雁宿ホール）周辺」を含めた3か所にて検討を行いました。

地元自治区などからの要望書や半田病院の目指すべき方向性、候補地における「適切と考えられる点」及び「課題点」、防災・減災、建設コスト、建設工期、経営面など多岐にわたる視点も踏まえ、より早く建設可能な「半田運動公園」と「半田北部グラウンド」でさらに検討を進めました。

最終的には、知多半島中南部の医療をカバーしつつ、常滑市民病院との機能連携を進めることは、総務省が求める新公立病院改革プランの取り組みや、愛知県地域医療構想等の趣旨にも合致し、外来患者及び職員アンケート調査結果からも、半田運動公園が適地であるという意見が多くを占めました。

また、将来、半田運動公園が前線型広域搬送拠点臨時医療施設（SCU）として県及び市町の防災計画に位置付け、具体的な運用マニュアル等が検討されるという点からも、新病院がその場所にあることの意義は大きいと考えます。

以上のことから、当委員会では、**「半田運動公園が新しい病院の建設場所として適している」**という結論に至りました。

なお、半田運動公園に新病院を建設するにあたっては、本報告書の内容を踏まえ、半田市民のみならず、近隣市町の住民にとって望ましい医療が持続的に提供できる医療施設となるため、次の点については、半田市と協力して解決に努められるよう要望します。

- 自動車等の運転が困難な患者や来院者の利便性向上のために、路線バスの延伸やコミュニティバスなどの導入の検討を行い、アクセスを十分確保すること。
- 南海トラフ地震の強い揺れ、撓曲や活断層、地盤条件などが建設予定地に与える影響を軽視せず、防災安全対策に万全を期すこと。
- 災害時の医療継続のためにも、ライフラインの二重化、アクセス道路の複数化を図ること。
- 自然豊かな公園に隣接する利点を生かすとともに、患者の快適な療養環境の確保に努めること。
- 適正な建設コストや建設工期の確保に努めること。
- 常滑市民病院と近接することとなるため、機能連携や経営形態などについて、常滑市及び常滑市民病院と速やかに協議を行うこと。
- 市民に適時適切に情報提供をするとともに、市民の理解と協力が得られるよう、丁寧に説明すること。